

モニタリングポスト、上越市内は14か所設置

	設置地点	設置年度
1	久比岐高校	H25年度
2	柿崎区雁海区民会館	H30年度（予定）
3	柿崎区水野町内会	H29年度
4	柿崎地区公民館川西分館	H30年度（予定）
5	柿崎地区公民館下黒川分館	H30年度（予定）
6	柿崎地区公民館黒川分館	H30年度（予定）
7	柿崎川ダム管理所	H28年度
8	吉川旭地域生涯学習センター	H28年度
9	吉川区総合事務所	H28年度
10	源地域生涯学習センター	H28年度
11	吉川スカイトピア遊ランド	H29年度
12	吉川地区公民館川谷分館	H29年度
13	旧大島旭地域生涯学習センター	H29年度
14	上越保健所	H24年度



新潟県が上越市内に設置するモニタリングポスト（大気中の放射線量を継続的に測定する据え置き型の装置・写真上）が今年度も4つ増えることがこのほどわかりました。この結果、市内での設置数は14になります。

「柏崎刈羽原発で放射能漏れが発生したときの対策に必要不可欠。早く増設せよ」と市民や日本共産党議員団などが主張してきたことが実現しました。写真は吉川区総合事務所近くにあるモニタリングポスト。13日撮影。

6月議会の最終日、日本共産党議員団の橋本議員（写真）が（仮称）上越市体操アリーナ新築工事などの請負契約5件、市税条例の一部改正案に反対して討論を行いました。討論の中で橋本議員は、（仮称）上越市体操アリーナ電気設備工事、小林古怪記念美術館増築工事、旧第一クリンセンター除却工事の3件については、全国市民オンパズマンなどから「談合の状況証拠」と言われている「一位不動」の入れ結果が出ていることを指摘し、「公正な入れが行われたと判断するにはあまりにも疑念が大きい」とのべました。

「一位不動」というのは、入れが複数回行われても、最低価格を入れた業者がいつも変わらない状態をいいます。全国市民オンパズマンなどでは、こうした「一位不動」は「談合の状況証拠」と主張しています。大きな問題ですね。

「一位不動」などを問題視 日本共産党議員団が議案に反対



【ホザキナナカマド】バラ科の落葉低木。漢字で「穂咲七竈」と書きます。花期は6月～7月。ガス水道局庁舎脇で咲いています。花の白がとてもきれいです。花言葉は「怠りない心」。

新水族博物館。「うみがたり」、26日オープンへ



新水族博物館・うみがたりを市議会でも視察してきました。110億円を超えるお金を投じただけあって、すごい水族館になったな、という印象でした。大水槽でイワシなどの大群が泳ぐ姿には圧倒されました。ミニイルカショーも見せてもらいました。

視察の中では、最上階の水槽と日本海が一体化する空間に電柱と電線が見えること、エレベーター空間が暗いことなどの声が上がっていました。

はしづめ法一の活動レポート

No.1863 2018.6.24

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第五一回

九年後の挨拶

ずっと気になっていたことがあります。父が病院で亡くなったときに、それまでお世話になっていたHさんに最後の挨拶をしないで、そのままになっていたことです。

Hさんは父のベッドの隣にいた入院患者さんのお連れ合いでした。九年前の四月、父が急性呼吸不全で亡くなったとき、バタバタしていたこともあって、Hさんとはその後、病院などで会うこともなく、そのままになっていました。

父が亡くなって、かなり経ってから、一度だけ、Hさんの自宅を訪ねようとしたことがありました。病院で聞いていたHさんの自宅は、私の記憶では高校時代に下宿仲間が住んでいた南城町の家の近くでした。ところが、いくら探してもHさん宅らしい家を見つけないことができませんでした。

六月の半ば、知事選後の用事があって、前にHさん宅を探しても見つからなかった住宅街へ行く機会がありました。そこで、ようやく気付いたのです。私の記憶していた場所がまったく違っていったことに……。Hさんは私が探していた場所から五百ほほど離れた場所に住んでおられたのです。

九年ぶりに再会したHさんは、自宅前の庭先で私を待っていてくださいました。杖を頼りに立っておられたものの、以前よりも老けたという印象はありませんでした。懐かしい顔を見て、「どうも御無沙汰しちゃって」と声をかけると、「腰痛めたら掃除もできなくてさ。障子張りもトシヨリしよにお願いしている」という言葉がまず返ってきました。杖を頼りにしている状態が気になっていたのかも知れません。

こちらからの挨拶が終わらないうちに、Hさんは父が亡くなった前後のことを話してくださいました。

もんね。私、看護婦さんに、このおじいちゃん、でつけ声出して元気良かったのにどうしたのって聞いたら、痰(たん)つまりまして亡くなったって」

やはり、Hさんは心配していてくださった、そのことがわかっただけで胸が熱くなりました。

私の父は一〇年ほど前に誤嚥性肺炎(ごえんせいはいえん)で緊急入院して以来、亡くなるまで一年四か月ほど病院生活をしていた。その三分の二くらいだと思いますが、Hさんのお連れ合いと同じ病室で、しかも隣同士でした。

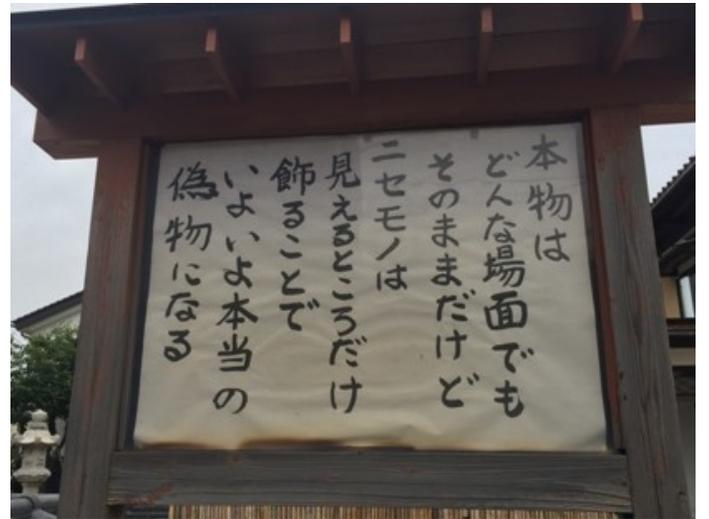
Hさんは、入院している夫に会うためにほぼ毎日、病室に姿を見せました。Hさんとは多く話をしたわけではありません。ただ、毎日のように会っているうちに、同じ病室の仲間意識みたいなものが芽生えていたのです。

私は父が亡くなった当日、病院に着いたときには看護師さんなどが父の心臓マッサージをしてくださったこと、霊安室から直接自宅へ向かってしまったことなどを語り、挨拶が遅れたことを詫言いました。

Hさんは挨拶の遅れは全く気にせず、「体格も良かったし、元氣も良かったんだけどねえ」と言い、その後、お連れ合いのことについても教えてくださいました。

「あれから、部屋、いくつかわったんだわ。婦長さん、風呂入りに行つてゆつくりしてこいつてわけさ。虫、知らせたんだね。息引きとるときに私、いないの。それが残念でね……」

Hさんはいま八五歳。デイサービスには一週間に二回行っているとのこと。「まあ、暇があつて困るんだわね」と言つて笑うHさんでしたが、次回はスモモでも持つて訪ねたいと思います。



【聴信寺の掲示板】

直江津は聴信寺の掲示板の言葉が久しぶりに替わりました。「ニセモノは見えるところだけ飾ることはいよいよ本物の偽物になる」

この言葉を見て、ドキっとする政治家が何人もいるのではないのでしょうか。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	6月13日(水)	6月20日(水)
上越南消防署	0.050	0.050
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.043	0.050
頸北消防署	0.050	0.053
頸南消防署	0.050	0.070
東頸消防署	0.050	0.050
高士分遣所	0.050	0.053
名立分遣所	0.050	0.057



写真は尾神分団の小型ポンプ操法。24日には、春日野駐車場にて上越市消防団の市長点検が行われます。

【方面隊の演習】市内各地で上越市消防団の各方面隊の演習が行われています。

このうち、吉川方面隊は17日、初めて総合事務所前の駐車場を会場に演習を実施しました。

点検者は小川団長。新任の団長とは思えぬ親分肌ときびきびした動きに注目しました。訓練では、来賓にも点検の機会を与えるなどの配慮もされていました。小型ポンプ操法は尾神分団1部のみなさんです。いい動きでした。